

事業所の紹介

愛泉会の各エリア 各々の取り組みについて紹介いたします。

デイサポートさくら

上山・西部エリア

デイサポートさくらは、市街地から15分程の山間にある上山市山元地区の旧公民館を借用し、地域住民の方との交流をはじめ、自然豊かで静かな環境を活かし、のびのびと活動ができるよう実施しています。

利用される多くの方は、「障がい者支援施設向陽園の入所者」や「法人内グループホームの入所者」ですが、在宅の方も少しずつ当事業所を希望して下さり、事業所としては嬉しい限りです。

また、利用者の『強み』『得意』を活かした活動が展開出来るよう、「リサイクル活動」「暖炉用薪活動」



「個別活動」等それぞれのグループに分かれて活動提案を行い、利用者の自信ややりがいに繋がられるよう心掛けて実施しています。

その他に季節の行事(バーベキューや芋煮会等)や小グループ外出を実施し、季節を感じ感性を刺激することを目的に取り組んでいます。毎年1月には、地域ボランティアの方の協力を得て、そば打ちの体験ができる「さくらそば祭り」を開催しています。地域の方との交流を通して、相互理解を図り、地域で生活している仲間という意識が高められる機会となっているようです。

今後も利用者一人ひとりの生活がより豊かなものになるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。

[デイサポートさくら サービス管理責任者 北島 英幸]

グループホームよつば

北部エリア

「グループホームよつば」は地域住民としての生活を強く意識したホームです。将来的にはサテライト型や一人暮らしを希望されている方もいらっしゃると思います。日々の掃除・洗濯等、ご自分たちで取り組まれる場面も多くあり、世話人さんが作った食事の配膳、下膳、後片付けも積極的に参加いただいています。世話人さんとの生活を中心に、より家庭的な雰囲気となっています。

休日になるとご近所の散歩や、最寄りのコンビニやスーパーへ行き、自身の欲しい物・必要な物を購入されています。今はコロナ禍のため、必要な分のみの外出をお願いしていますが…。ホーム内では仲良い利用者さん同士がリビングに集い、和気あいあいと談笑したり、利用者さん一人ひとりが有意義なひと時を過ごされています。

また、地域との交流も多く、町内の清掃活動に毎回参加し、町内の皆さんと顔なじみになり楽しく会話されています。神社の豆まき・盆踊りの行事も毎年参加し、地域の行事を盛り上げ、楽しまれています。

今後も町内の清掃活動・近所の行事のような地域との交流を多く持ち、利用者さん1人ひとりのペースで楽しく過ごせるようなホーム作りを進めていきます。

[グループホーム支援センターみらい 支援員 推名 美里]



児童デイサービス月のひかり

南部エリア

当事業所は、村上市長の大きな見守りのもと、リーダーを中心により良い支援の形を模索しています。「月のひかり」は放課後のデイサービス。宿泊のショートステイを提供。放課後等デイサービスは2班集体で、小学生対象「ぶるぶる班」(定員10名)、中学生対象「月のひかり班」(定員10名)利用児童合計20名となっています。ショートステイは定員3名、この圏域唯一の児童期に特化した提供をしています。子どもたちの健やかな成長とともに、わが子を託される親御さんの「思い」を受け取るのも



私たちの「役目」と考え、そのニーズに応えられるよう取り組んでいます。しかし、現場では困難や失敗、悔いは常にあります。特にこの一年は特殊な一年でした。「コロナ」です。

『コロナ』という“病”は、行動にそして心にも「慎重であること」を私たちに課しています。一時期は公園に行くことすらためらわれる、そんな当たり前の事が行えない状況であっても「今できる事は何か？」を職員みんなでも考えました。現在は体育館での運動や調理などコロナ禍なりの活動スタイルを見つけ、ですが願うのは、マスク越しではなく素顔で喜怒哀楽を交わせる日に早く戻れますように…。

[向陽園ホームヘルプステーション心音 パート児童支援員 古林 嘉彦]



多機能型事業所なかやま虹の丘

天童・中山エリア

なかやま虹の丘は生活介護事業と就労継続支援B型事業の多機能型として開所し5年目を迎えました。

当初は中山町社協で地域活動支援センターとして創設し、その後より専門的な知識と技術、組織体制の充実が求められ、社会福祉法人愛泉会多機能型事業所なかやま虹の丘となりました。建物は町所有の元保育園で、体育館、長い廊下、園庭、向かいには畑もお借りして自然豊かな環境で活動しています。

生活介護では午前中は働く活動と創作活動、午後は外出と個別活動を中心に選択して頂けるようにしています。働く活動では農作業、空き缶リサイクル、エコバック作りでそれぞれが自分のできることを活かし参加できるようにしています。また小グループでの外出や地域のお店での外食は皆さん

楽しみにしています。

就労継続支援B型では製造部門の祭り花の自主製品作り、受託部門ではチラシの折り込み、フルーツキャップの折り返し等の2本立てで行っています。昨年春よりコロナの影響で地域のお祭りが全て中止となり祭り花が売れなくなってしまいましたが、受託先の開拓を行い新しい作業に取り組んでいます。

今後も、安心して楽しく過ごせる居場所の提供、適性や希望を考慮し、充実した日々を感じて頂けるように支援していきたいと思ひます。

[多機能型事業所なかやま虹の丘 サービス管理責任者 丹野 由香]

